

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	定住対策促進事業費（日常生活の体験）	担当課	営繕住宅課
事業内容（簡潔に）	移住検討者にお試し住宅で本市の日常生活を体験していただく事業		

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	心地よい定住環境のあるまちづくり	
	政策	快適に暮らすための生活環境の充実	
	施策	住宅・宅地の整備	
関連する個別計画等		根拠条例等	韮崎市お試し住宅実施要綱

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	県外からの移住・定住を検討している方に、市内での日常生活を体験してもらうことにより、移住・定住をサポートする。
事業の手段	市内での日常生活を体験するために居住する住宅として、定住促進住宅及び駐車場を一時的に貸与する。 利用住宅：サンコーポラス藤井1室、サンコーポラス竜岡1室 利用期間：3日以上14日以内（利用期間満了後、その後の予約がない限り1回のみ延長可） 利用料金：無料（駐車場料金のみ徴収）
事業の対象	市内への移住・定住希望者

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
A	事業費 (千円)	318	303	408
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)	30	26	23
	一般財源	288	277	385
B	担当職員数(職員E) (人)	0.25	0.25	0.25
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,831	1,678	1,643
D	総事業費(A+C) (千円)	2,149	1,981	2,051
主な事業費用の説明	消耗品費、光熱水費、清掃委託費等			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 提供部屋数	サンコーポラス藤井、サンコーポラス竜岡 (室)	2	2	2
	2 年間利用件数	サンコーポラス藤井、サンコーポラス竜岡合計 (件)	49	50	26
	3				
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	市街地と郊外、それぞれの立地にある住宅での生活を体験してもらうことができている。			
	2	R2年度はコロナの影響により、緊急事態宣言中の利用を停止していたこともあり、利用件数は減少したが、利用料が無料、年齢制限等も無いことから、年間利用件数は増加している。			
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1 稼働率 サンコーボラス藤井	利用日数/年間開放日数 (%)	173/358 48.32%	201/356 56.46%	98/341 33.41%
	2 稼働率 サンコーボラス竜岡	利用日数/年間開放日数 (%)	215/359 59.89%	146/341 42.82%	127/341 37.24%
	3 市内への移住率	市内移住件数/利用件数 (%)	9/49 18.37%	10/50 20.00%	5/26 19.23%
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	令和2年度はコロナの影響により、緊急事態宣言中の利用停止を行ったため、稼働率も下がった。			
	2	令和2年度はコロナの影響により、緊急事態宣言中の利用停止を行ったため、稼働率も下がった。			
	3	お試し住宅を利用して市内での生活を体験したことにより、移住につながった方が増加している。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)			
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)			
	令和3年度の改善計画 (今後の事業展開説明) 引き続き、移住相談員、人口対策担当と連携し、移住・定住につながるような制度の実施を図っていく。			
過去の改善経過	改善の経過	H29～ 利用可能日数を3日～30日から3日～14日に改正		
	直近の評価結果	内部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大      - <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		外部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
改善案	人口対策担当と連携し、今後も利用し易い環境整備を行っていく。			
課長所見	コロナ禍により利用停止をしたため稼働率等は低下した。しかし、市内への移住率はほぼ変わらなかったため、効果は期待できる。			